

# バス会社の事業許可取り消し

長野県スキーバス転落、15人死亡事故

運行管理者の資格即日失効

社長 「事業再参入考えず」

「改めて責任の重さを痛切に感じた。被害者の方には誠意を持って対応したい」と謝罪

2016年2月19日(金)21時54分

長野県で15人が死亡したスキーバス転落事故で、国土交通省は19日、道路運送法に基づき、事故を起こしたバス運行会社の貸切バス事業許可を取り消した。同社の運行管理者の男性(47)に対しては、資格者証の返納も命じた。国交省によると、計33項目の法令違反が判明。社会的影響の大きさを勘案し、取り消し処分となった。同社は特定バス事業の許可を得て幼稚園やゴルフ場の送迎も行っているが、国交省の指導もあり、撤退する意向を示しているという。また、運行指示書の記載漏れなど運行管理者に関する違反が多数見つかったため、国交省は同日、男性に資格者証の返納を命令。資格は即日失効した。同社の社長は同日、取材に応じ、「改めて責任の重さを痛切に感じた。被害者の方には誠意を持って対応したい」と謝罪し、「(バス事業への)再参入の考えはない」と話した。

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 「青」信号で発進時 前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

2時間ごとに、15分休憩で、自分の命も守ろう！

車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう

## 労災事故 作業中の事故で、30日余りで3人死亡

製鉄所に緊急点検要請

◆荷台からの転落に注意、逃げ場の確保、足元の確認◆

2016.2.20 07:08

大分県の製鉄所で今年に入り作業中の事故で3人が死亡したことがわかり、大分労働局は19日、製鉄所幹部を呼んで構内の緊急点検を要請した。大分労働局の局長が、製鉄所の所長に要請書を手渡し、内容を説明した。「安全管理が徹底されていなかったのではないかと、企業として何が問題だったのか、考えてほしい」と強調し、事故の防止策を3月25日までに提出するよう求めた。製鉄所の所長は、「謙虚に受け止め、協力会社と一体となって再発防止に努める」と述べた。労働局長は要請後、報道陣に「わずかに30日余りで3人も亡くなるのは異常事態で、あり得ないことだ」と指摘した。製鉄所の所長は、「危険が内在していたことを事前に見抜けなかった。網羅的な対策が必要」と語った。

製鉄所によると、構内では1月に足場設置作業中に高さ約10メートルから転落して作業員1人が死亡。2月には溶けた金属に触れたり、高さ約7メートルの作業現場から転落したりして2人が死亡した。

## 士別の信号のない交差点 一時停止の標識

アイスバーン 衝突事故で78歳女性死亡

2016.2.19 12:33

19日午前8時ごろ、士別市多寄町の市道交差点で、近くに住む無職の女性(78)と、農業の男性(31)の乗用車同士が衝突し、女性が搬送先の病院で死亡した。男性は軽傷とみられる。士別署によると、現場は信号のない交差点で、女性の側に一時停止の標識があった。路面はアイスバーン状態だったという。

## 車線変更のトラックに衝突 乗用車の男性死亡

◆車線変更する場合は、後方の安全確認を確実にしましょう◆

2016年2月19日(金)18時41分配信

香川県の高松自動車道で、追い越し車線に車線変更したトラックと後ろから走ってきた乗用車が衝突。この事故で、乗用車の後部座席に乗っていた男性(73)が胸などを強く打って病院に運ばれましたが、まもなく死亡しました。事故当時、現場の周辺では、落下物の影響で50キロの速度規制を行っていました。

## トレーラーのシャーシが、高さ制限を表示する標識に衝突 橋桁防護工が落下

2016年2月17日(水)17時32分

17日午前8時ごろ、静岡県の国道のガードで、男性運転手(53)の大型トレーラーのシャーシ上部がJR線ガードの橋げたに付けられていた高さ制限を表示する標識に衝突した。歩道上に橋桁防護工が落下した。JRによると、事故直後に電車を一時停止し、安全確認した。線路などに異常はなかったという。上下線計2本に最大13分の遅れが出て、乗客約1100人に影響した。

## 路面は凍結 スリップ はみ出し 正面衝突、1人死亡

2016年2月19日(金)16時25分

19日午前7時前、軽トラックと2トントラックが正面衝突した。この事故で、軽トラックを運転していた会社員の男性(50)が病院に搬送されたが死亡した。ほかにも、2トントラックに乗っていた人など3人が軽傷。事故当時、路面は凍結していた。警察は、軽トラックが車線をはみ出したとみて調べている。